

## 国登録文化財旧口大野村役場



旧口大野村役場外観



1階 事務室

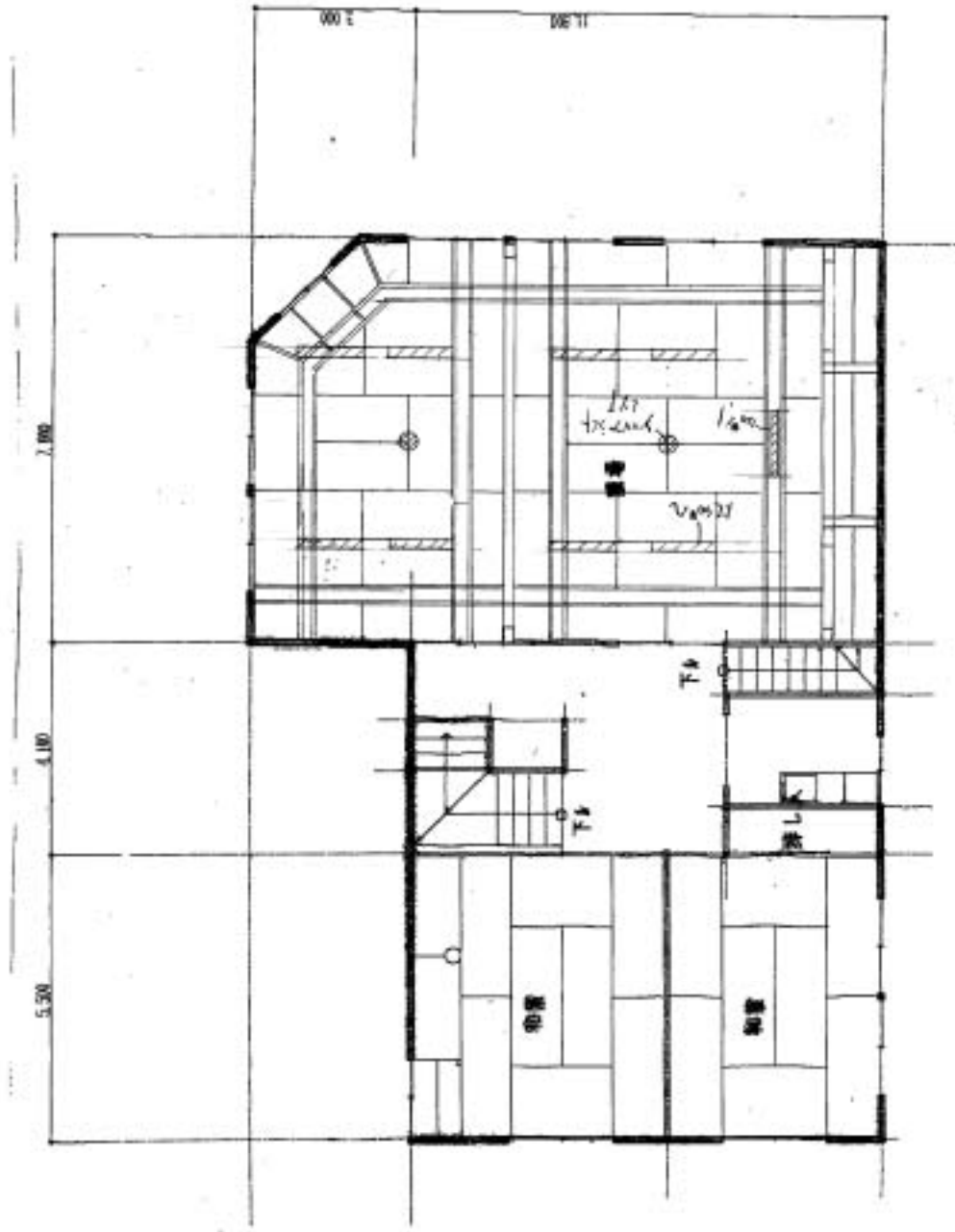


2階 議場



001/1 = 0 図面本 巻子

天井伏回



## 1 旧口大野村役場庁舎

国登録文化財

所在地:大宮町口大野628番地の1

所有者:京丹後市

旧口大野村役場庁舎は、近世以来、織物業で栄えた口大野地区に所在する。所在地の小字名は「大道筋」であり、中世以来の主要な交通路に面した立地状況をよく示している。この地区は、昭和2年3月7日の丹後大震災時に被害を受けているが、現在も周辺には旧口大野郵便局(大宮ドライクリーニング)等が残っており、昔の景観をとどめている。

現在に残る旧口大野村役場庁舎は、和風民家の並ぶ景観の中で唯一擬洋風のモダンな景観を生み出しており、特異な存在感を有する。しかし町有建物台帳を除くとこの建物の資料は皆無であり、詳細な点については不明の点が多い。以下、当町文化財保護審議会が平成10年9月29日付けで答申した「旧口大野村役場(大宮町字口大野所在)の保存および有効利用について」の中で調査した結果をもとに建物の沿革をたどってみる。

建造時期については、口大野628番地の1が昭和4年1月8日に個人所有から口大野村有になる(登記簿より)ことおよび町有建物台帳にみられる昭和5年1月1日竣工の記事から、昭和4年1月8日以降の年内に建造されたものと考えて大過ないものと思われる。

## 2 現状と課題

当該建物は、国登録文化財として指定されており、昭和初期の旧口大野村役場として建てられたモダンな建物であるが、現在は活用されていない。電気も使用されていた電気配線は付設されているが、数年間放置されており活用にあたっては電気配線を点検し、再付設する必要がある。老朽化も進み、また2階議場の天井部及び壁板などに紙テープが張られるなど応急的な処置がなされている。1階の床面も老朽化が見られる。トイレも汲み取りのままの状態となっており、使用に際しては改修が必要である。展示施設として、活用を前提として、修繕をするために予定される修繕費用 4,105,000円

## 3 今後の活用計画

どんな活用を考えるか

- ・ おもちゃ博物館
- ・ 行政文書資料館 (火災等の関係)
- ・ タコづくりなど の子供を対象にした事業
- ・ 手づくり絵本の展示会、
- ・ 民俗資料の展示 ( 明治、大正、昭和初期の資料 )

利用方法

- ・ 年に数回、企画展示、事業を開催し、そのときに開館する
- ・ 団体の見学希望予約があったときのみ、文化財保護課職員が説明する

**国登録文化財**

**旧口大野村役場の整備活用計画検討資料**